



# 生活困窮者支援の課題

---

婦人・母子及び児童福祉施設における  
フードバンク活用の調査結果報告



# 本日の内容

---

- I 調査の概略
- II 調査の質問項目
- III 調査の目的と結果分析
- IV 支援の課題



# I 調査の概略

---

- 対象施設・団体 = 26
- インタビューによる質的調査
- 半構造化面接



# 対象施設・団体

---

- 児童養護施設 10
- 婦人保護施設 1
- 母子生活支援施設 5
- 女性シェルター 1
- 自立援助ホーム 3
- 生活困窮者支援施設・団体 6



## Ⅱ 調査の質問項目

---

1. 2HJを利用するようになった理由
2. 2HJの利用期間
3. 提供された食品の活用方法
4. フードバンク食品活用の効果
5. 現在提供されている食品について
6. 将来的な輸送コスト負担の可能性
7. 今後の要望



## Ⅲ 調査の目的と結果分析

---

各施設・団体のフードバンク担当者や栄養士の職員に、提供された食品の内容と利用方法を具体的に聞き、フードバンク活用による効果を明らかにする



# 1. 2HJを利用した理由

	児童養護施設	婦人保護施設	母子生活支援施設	シェルター	自立援助ホーム	生活困窮者支援施設・団体
2HJから	7				1	2
紹介	3	1	3	1	2	4
申込み			2			



## 2. 2HJの利用期間

---

	児童養護 施設	婦人保護 施設	母子生活 支援施設	シェルター	自立援助 ホーム	生活困窮者 支援施設・団体
2～3年	3			1	1	3
3～5年	5	1	4		1	
5年以上	2		1		1	3

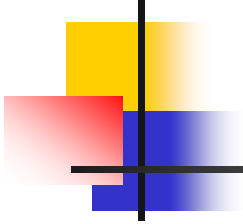




## 3. 提供された食品の活用方法

---

- 児童養護施設（10）
  - ・ 日常の食事、幼児・中高生のお弁当
  - ・ おやつ、デザート
  - ・ 施設の行事（お誕生会、夏祭、クリスマス）
- 婦人保護施設（1）
  - ・ 日常の食事
  - ・ おやつ
  - ・ 施設の行事（料理教室など）





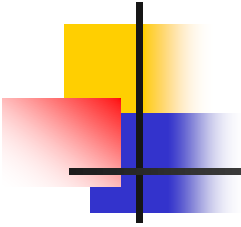
---

- 母子生活支援施設（5）

- 日常の食事
- 学童保育のおやつ
- 施設の行事（遠足など）

- シェルター

- 日常の食事
- おやつ、お菓子教室





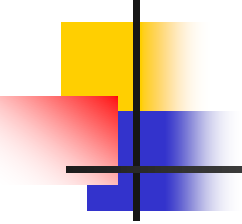
---

- 自立援助ホーム（3）

- 日常の食事、職場のお弁当、夜食
- おやつ
- 施設の行事（旅行など）

- 生活困窮者支援施設（1）

- 日常の食事
- おやつ
- 行事の賞品など

- 
- 
- 生活困窮者支援の食堂
    - ・栄養価の高い食事を、1日300食提供
  - 生活困窮者支援団体
    - ・炊き出し、お弁当
    - ・日常の食事、おやつとして配布し、各自が持ち帰る



## 4. フードバンク食品活用の効果

---

- 食事内容の充実
  - 品目を増やす、質を高める
- おやつ・デザートの実
- 子どもたちへの食育
- 生活に困窮する退所者へのアフターケア
- 施設利用者とのコミュニケーション
- 栄養バランスを配慮した食事の提供
- 珍しい食品に接することで食の幅が広がる



---

- 食費の削減

- 年末にお寿司やステーキを食べる
- 行事のごちそうに使う
- 生鮮食品を買う
- 外食をする
- 旅行費用にまわす
- 個人の貯金







## 5. 現在提供されている食品

---

- どの施設も、ほぼニーズに合っている
- 冷凍食品は、事前にリストが送られて、必要な食品を選ぶシステムがとられている
- 母子生活支援施設では、調理に手間のかかる食品を敬遠される傾向がある
- 消費できない場合には、断る



# 喜ばれる食品

---

- お菓子、菓子パン、アイスクリーム、
- くだもの、フルーツ缶詰
- 甘味飲料、炭酸飲料、缶コーヒーなど
- 季節商品のセット
- 冷凍食品の惣菜
- 主食となる米、パン、麺類など
- 調味料



# ほしい食品

---

- 肉類
- 生鮮野菜
- 粉類(ホットケーキ粉など)
- ミネラルウォーター
- 冷凍食品→現在提供されていない施設
- 食品以外の日用品



## 6. 輸送コスト負担の可能性

	児童養護施設	婦人保護施設	母子生活支援施設	シェルター	自立援助ホーム	生活困窮者支援施設・団体
コスト負担可能	4		2		3	1
コスト負担不可能	3	1	1			1
引き取り可能	8		1	1	2	3
引き取り不可能		1				1
回答未定	2					5

## 7. 今後の要望

---

- 継続した活動を続けてほしい
- 施設としても、フードバンク活動を広めるために貢献したい





## IV 支援の課題

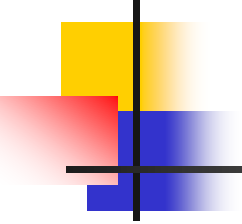
---

- 各施設・団体の保管状況の問題

食品提供の必要性が高いと考えられる施設は、第2種社会福祉事業の小規模な施設やNPO法人の運営する施設が多く、第1種社会福祉事業の施設と比較すると、行政からの補助金も少ない

- 保管場所がない

- 業務用冷凍庫ではなく家庭用冷蔵庫使用

- 
- 
- 輸送コスト負担と拠点への引き取りの両方とも不可能な施設
  - 「栄養価の高い食品を届けたい」というフードバンク支援者の意向
    - 現実のニーズとの齟齬
  - 施設利用者に食品を配布する際の公平性